

## 第9回 生物統計ネットワークシンポジウム 2018

近年の医薬品・医療技術の開発およびその評価に関する国際的な動向の進展はめざましく、データサイエンスに求められるニーズも高度化が進み、そのための科学技術基盤としての生物統計学の方法論はますます重要なものとなっています。本シンポジウムでは、本邦の生物統計学研究の第一線で活躍する研究者をお招きして、最先端の研究について平易に解説していただき、最新の知見を広く共有するとともに、本邦の生物統計専門家の協同・連携体制の強化をめざしたネットワークの構築を目的としています。

**日時：2018年3月19日（月）13:00-17:30（開場 12:30）**

**会場：FUKURACIA 丸の内オアゾ Hall B（東京都千代田区丸の内1-6-5）**

**Access: <https://www.fukuracia.jp/marunouchi/access/>**

**主催：統計数理研究所 リスク解析戦略研究センター**

**参加費：無料**

※ 事前のお申し込み等は不要です。どなたでもご参加いただけます。

### 【プログラム】

開会挨拶 山下智志（統計数理研究所 副所長，リスク解析戦略研究センター センター長）

チュートリアル講演「構造的因果モデルの基礎」黒木学（横浜国立大学）（13:10-14:45）

企画セッション「生物統計学方法論の最前線」（15:00-17:20）

「ネットワークメタアナリシスによる Comparative Effectiveness Research と高次漸近理論に基づく推測手法」野間久史（統計数理研究所）

「経時測定医学データに対する統計的変換モデルの応用」丸尾和司（筑波大学）

「個別治療効果推定に対する機械学習的アプローチ」菅澤翔之助（統計数理研究所）

「Information criteria for Firth's penalized partial likelihood approach in Cox regression models」長島健悟（千葉大学）

閉会挨拶 野間久史（統計数理研究所 リスク解析戦略研究センター 准教授）

### お問い合わせ

統計数理研究所 リスク解析戦略研究センター 事務局

[biostat@ism.ac.jp](mailto:biostat@ism.ac.jp)

<http://www.ism.ac.jp/risk/>

